

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」、「ご注意とお願ひ」（3、4ページ）をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

△ 警告：誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

△ 注意：誤った取り扱いをしたとき、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

!**警告**



●改造しないでください。修理技術者以外の人は分解したり、修理をしないでください。修理に不備があると発火したり、異常動作してけがをすることがあります。修理はお買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口までご相談ください。



●差し込みプラグは、刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふき取ってください。そうしない場合、火災の原因になります。



●水につけたり、水をかけたりしないでください。
ショート・感電の恐れがあります。



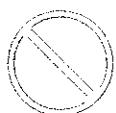
●お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

⚠ 警告



- 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源コードを傷付けたり、破損したまま使用したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 交流100V以外では、使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

⚠ 注意



- 水のかかるところや、火気の近くでは使用しないでください。
感電や漏電の原因になります。
- 専用内なべ以外は、使用しないでください。
過熱、異常動作の原因になります。
- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では、使用しないでください。
火災の原因となります。



- 使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そうしない場合、けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



- 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜いてください。そうしない場合、感電やショートして発火することがあります。

ご注意とお願い

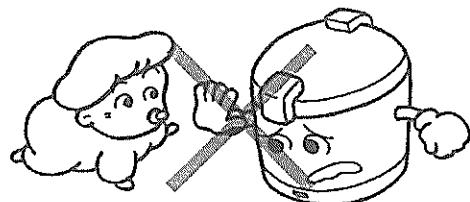
(ご使用前に必ずお読みください。)

火災・感電・やけど・故障などを防ぐため、次のことは必ず守ってください。

使用場所

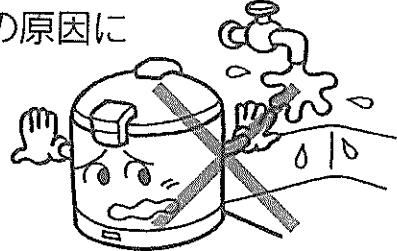
△警告

- お子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないで
- やけど・感電・けがをする恐れがあります。



△注意

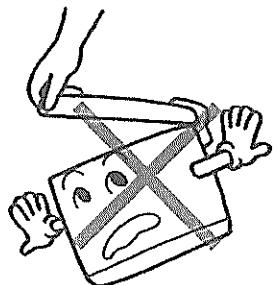
- 水のかかるところや火気の近くでは使用しないで
- 感電や漏電の原因になります。



- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないで
- 火災の原因となります。

取り扱いはていねいに

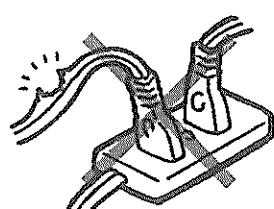
- 落としたり、強い衝撃を加えたりすると、故障の原因になります。



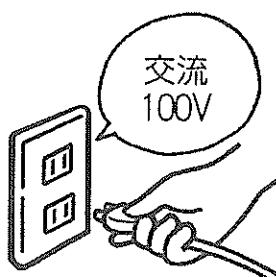
使用前

△警告

- 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないで
- 感電・ショート・発火の原因になります。

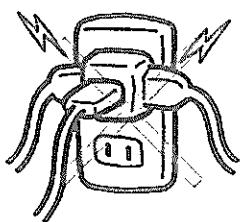


- 交流100V以外では使用しないで
- 火災・感電の原因になります。



タコ足配線はしないで

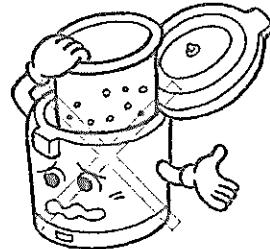
- 火災の恐れがあります。



こげついたごはんつぶ、

- 米つぶなどは取り除いて故障の原因になります。

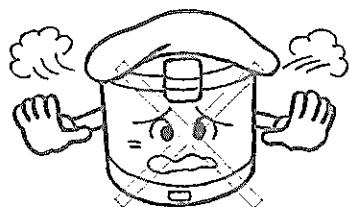
本体の内側、
上枠、外ぶた、
内なべの外側
など

保温中は、ふた天面、内容器、
本体の内側に手をふれないで

- やけどをすることがあります。
特に乳幼児には、
さわらせない
ようご注意
ください。

フキンなどを
かけないで

- 本体やふたの変形・変色の原因になります。



!警告

水につけたり、
水をかけたり
しないで

- ショート・感電の恐れがあります。



丸洗いはしないで

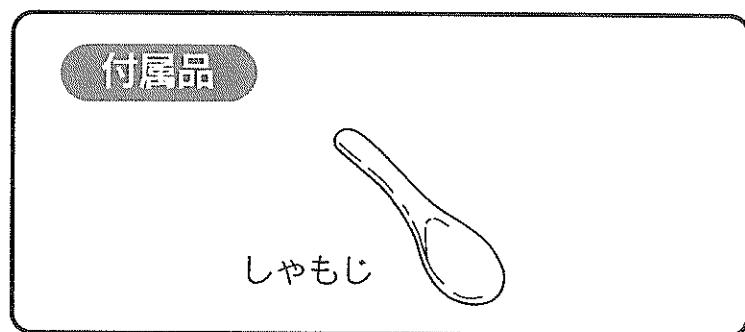
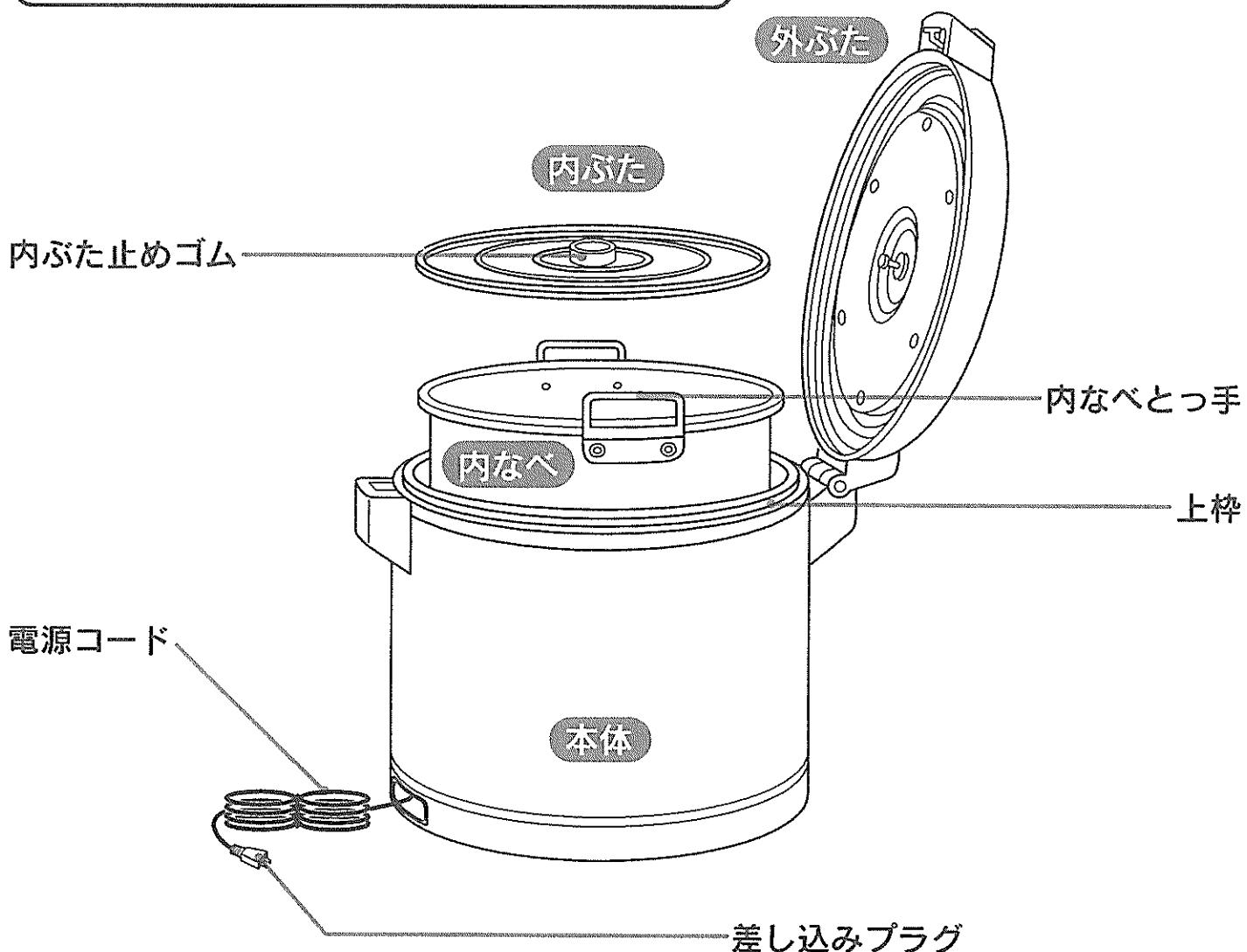
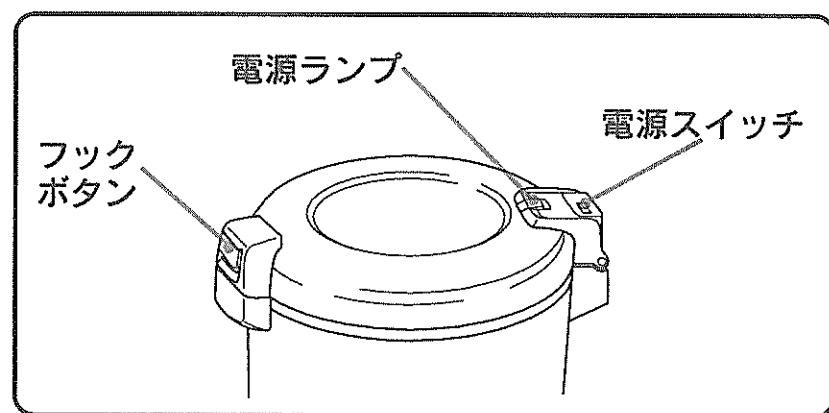
- 本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしないでください。
ショート・感電の恐れがあります。(9ページ参照)



内なべのフッ素加工面を傷めないために…

- しゃもじは、付属のものか木製のものを使用してください。
- 塩分・酢などによって腐食しやすいため、精白米以外の保温はできるだけさけてください。
- 内なべのフッ素加工面は、食品衛生上安全です。
- ご使用中、色むらができることがありますが、ごはんや人体には影響ありません。
- 内なべが変形したり腐食した場合は、お近くのタイガー製品販売店でお買い求めください。

各部のなまえとはたらき



内なべ、内ぶたをセットしてください。

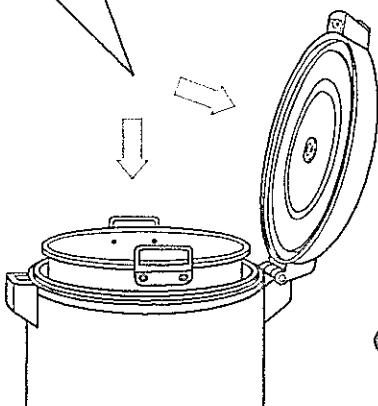
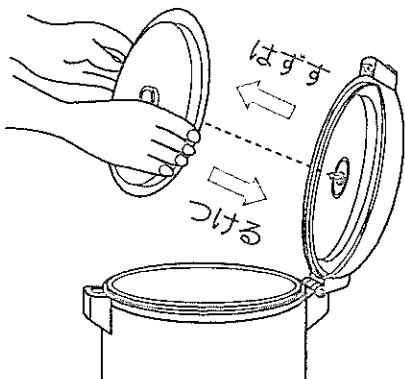
内ぶたのつけ方、はずし方

●つけ方

文字が読める方を手前にして押しつけてください。

●はずし方

イラストの様に必ず両手で左右平行に手前にひっぱってください。片手でひっぱると内ぶたが変形し、蒸気もれ発生の原因になりますのでご注意ください。



●各部を矢印の方向に正しくセットしてください。

仕様

サ イ ズ	7.2L(4升)タイプ	9.0L(5升)タイプ
保温米飯容量(約)L	7.2(4升)	9.0(5升)
電 源	交流100V 50-60Hz	
消費電力(平均)W	45	48
外形寸法 (約) cm	幅	48.1
	奥 行	39.5
	高 さ	34.1
重 さ(約)kg	6.2	6.8
コードの長さ(約)m		1.5

●保温米飯容量は、一回に内なべに入れて保温できる炊飯前の米の量です。

●保温時の消費電力は、電圧100V・室温20°C・満量保温の場合の平均電力(約)です。

ご使用の手順

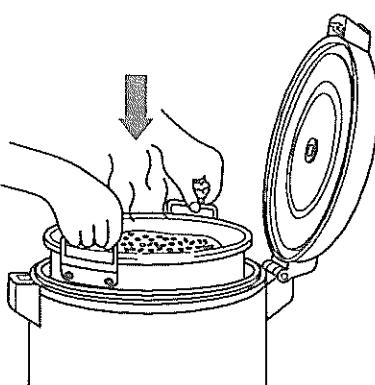
1 差し込みプラグを差し込み、電源を入れる



- 電源ランプが点灯します。
- 30分間、予熱をします。
ジャー全体がほどよく温まり
つゆの発生が少なくなります。

2 内なべにごはんを入れ、本体にセットする

- 炊きたてのごはんがさめないうちに、内なべに入れます。
- 内なべのとつ手を持ち、静かに入れてください。



- 内なべをセットする時、途中から落としたり、本体内でグルグル回すと、内なべが傷ついたり、変形したりすることがあります。
- 冷やごはんをいれたり、しゃもじを入れたままにしないでください。ごはんの腐敗の原因となります。

おいしく保温するために

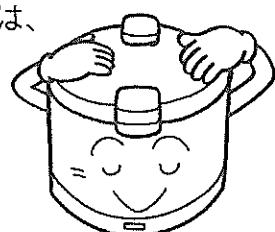
炊きたてのごはんを、冷めないうちにに入れましょう

- 炊きたてのごはんを、できるだけ多めに保温するほど、おいしさが長時間保てます。



ふたは確実に閉めましょう

- しっかり閉まってないと、ごはんの乾燥・変色・においの原因になります。
- 内ふたの縁にごはんつぶがついたときは必ず取りのぞいてください。
- ふたを開けている時間は、できるだけ短くしてください。



3

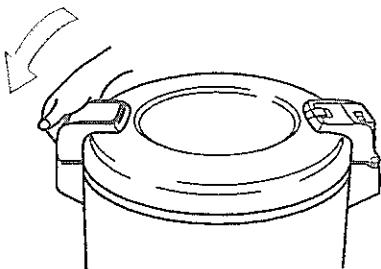
外ぶたを閉める



保温開始

12時間以内が適当

- 外ぶたは「カチッ」と音がするまで、ていねいに閉めてください。

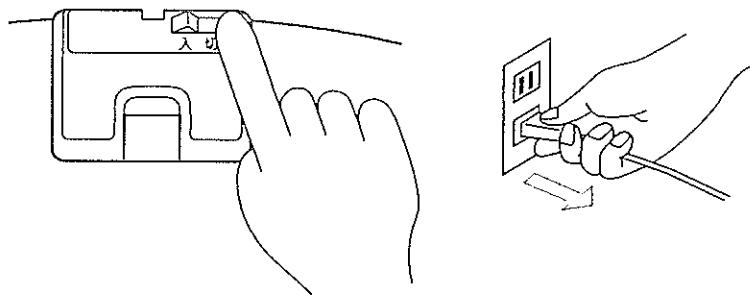


- ジャーを持ちあげるとき、フックボタンを押さないでください。外ぶたが開いてしまいます。

4

使用後は

- ①電源スイッチを「切」にします。
- ②差し込みプラグを抜きます。

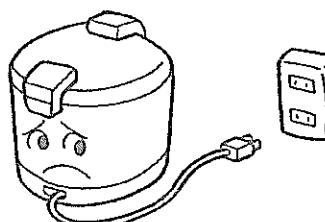


⚠ 注意

- 必ず差し込みプラグを持って抜いてください。そうしない場合、感電やショートして発火することがあります。

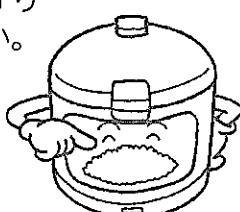
差し込みプラグを抜いたときは、すぐにコンセントに

- 温度が下がるとにおい・変色の原因になります。



少量のごはんを保温するとき

- 少量のごはんを保温するときは、中央に盛りあげるようにして、できるだけ早くお召しあがりください。



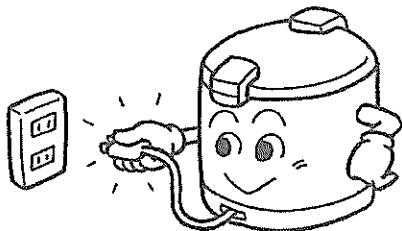
つぎのような保温はやめましょう

におい・バサつき・変色や内なべの腐食などの原因になります。

- 冷やごはんの保温やつぎ足し
- しゃもじを入れたままの保温
- 12時間以上の保温
- 白米以外の保温

お手入れの方法

差し込みプラグを抜き、
本体が冷えてから



台所用合成洗剤以外は使わないで



シンナー
クレンザー
化学ぞうきん
ナイロンたわし

- 内なべ・内ぶた・つゆ受けなどは、いつも清潔にしてください。
不充分ですと、腐食やにおいの原因になります。

本体

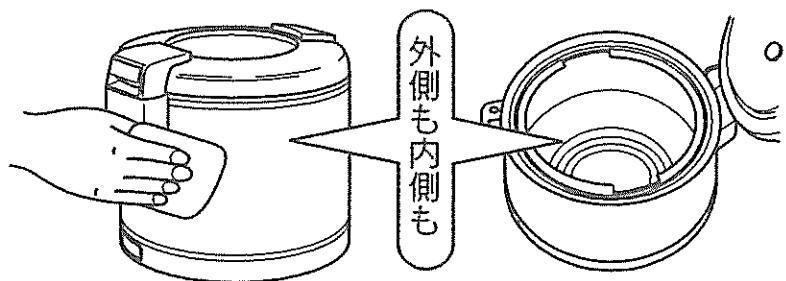
固くしぼった布で、汚れをふき取ります。

- 本体内部へは、絶対に水が入らないようにしてください。

警告



水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。



内なべ・内ぶた

柔らかいスポンジで洗った後、水分をふき取ります。

- 内なべに食器類などを入れて、一緒に洗わないでください。

しゃもじ

柔らかいスポンジで洗った後、水分をふき取ります。

- 熱湯に浸すと変形する恐れがありますので、必ずぬるま湯で洗ってください。

においの取り除き方

ご使用ごとに、こまめにお手入れしていただくのが一番ですが、もしにおいがついてしまった場合は、次のお手入れをしてください。

- ①内なべの中に熱湯を7~8分目入れて、2~3時間保温します。
- ②内なべ・内ぶたを洗剤でよく洗います。
- ③ふきんを熱湯に浸して固くしぼり、外ぶた・内ぶたと上枠をよくふきます。
- ④風通しの良い場所で本体・各部を乾燥させます。

故障かな？と思ったら

- 下記の点検をしてもなお不具合の場合
- 本体に水や米が入ってしまった場合



お買い上げの販売店にご相談ください。
ご自分の分解や修理は危険ですから
絶対におやめください。

！警告



改造しないでください。修理技術者以外
の人は修理をしないでください。修理に
不備があると発火したり、異常動作してけが
をすることがあります。

原因	このような場合		
	におう	パサつく	変色する
ごはんの量が少なすぎた		●	●
12時間以上の保温をした	●	●	●
冷やごはんの保温をした	●		
しゃもじを入れたまま保温をした	●		
内ふたをつけ忘れた		●	
内ふた、本体にこげついたごはんつぶ、 米つぶがついている		●	●
炊飯時、充分洗米しなかった	●		
炊飯時、水加減をまちがえた		●	
電源スイッチを「入」にしなかった	●		

◆◇ 保温器返却時の梱包手順◇◆

返却する物 本体・しゃもじ

1



本体を入れて下さい。

2



パッキンを乗せて下さい。

3



取扱説明書を入れて下さい。

4



出荷伝票(写真左上)下のビニール封筒の中の返却用
着払い伝票を貼り付け位置に貼って送り返してください。
(写真右下)

5



同封のPPバンド1本で留めて下さい。

この度は、ご利用頂きましてありがとうございましたm(_)_m

梱包時PPバンドの使用方法

①



輪をつくる。

②



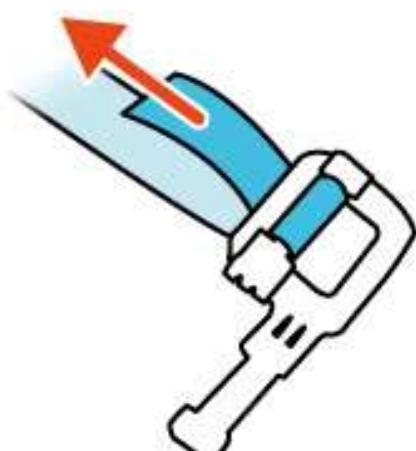
つくった輪をストッパーに通す。

③



1本の足を輪の中に折りたたむ。

④



バンドを矢印の方向に引っ張る。

⑤



荷物に回したもう片方の
バンドも同様に通す。

⑥



ひもを両端に引っ張り、
しっかり締める。